



群馬県の観光情報2月号

令和6年(2024)年2月20日
群馬県東京事務所 政策調整第二係

今月の県発表

No.	情報提供元	内 容
1	高崎行政県税事務所	ナゾトキクエスト in ぐんま三大梅林

今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	高崎行政県税事務所	ナゾトキクエスト in ぐんま三大梅林	P.1
2	道の駅まえばし赤城 (前橋市)	道の駅まえばし赤城 いちごフェスティバル	P.1
3	妙義ビジターセンター (富岡市)	みょうぎ山(やま)フェスタ・妙義ふるさとマルシェ	P.2
4	群馬県立自然史博物館 (富岡市)	第69回企画展「紳士淑女のための鉱物展」	P.2
5	高崎市	第37回みさと梅まつり	P.3
6	高崎市タワー美術館 (高崎市)	企画展「群青と緑青 神々しい“あお”」	P.3
7	高崎市美術館 (高崎市)	企画展「視覚の冒険者たち」	P.4

今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	高崎行政県税事務所	ナゾトキクエスト in ぐんま三大梅林
2	群馬県 ぐんまブランド推進課	群馬で生まれたいちご「やよいひめ」を使った料理教室を開催
3	群馬県立自然史博物館 (富岡市)	第69回企画展「紳士淑女のための鉱物展」
4	アーツ前橋 (前橋市)	企画展・前橋の美術2024「一やわらかなバトン」
5	高崎市	第37回みさと梅まつり
6	高崎市タワー美術館 (高崎市)	企画展「群青と緑青 神々しい“あお”」
7	高崎市美術館 (高崎市)	企画展「視覚の冒険者たち」
8	川場村	川場村移住促進イベント「カワバフェス'24春」

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所
(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

ナゾトキクエストinぐんま三大梅林【群馬県】

安中市・高崎市に眠る伝説のお宝を探せ！

ぐんま三大梅林と言われる、安中市の秋間梅林、高崎市の榛名・箕郷梅林を舞台に、謎解き宝探しイベントが開催されます！安中市・高崎市に眠る、伝説のお宝を探しに行きましょう。

各梅林会場や周辺の主な観光施設などで参加冊子を手に入れてスタート！見事お宝を見つけられたら、抽選でNintendo Switch Liteや磯部温泉旅館宿泊券、榛名湖温泉ゆうすげペア宿泊券などが当たります。

宝探しに制限時間はありません。各梅林周辺の観光スポットを巡り、グルメを楽しみながら自由に挑戦してみてください！

日時	◆令和6年2月9日（金）～3月24日（日）
場所	◆安中市の秋間梅林、高崎市の榛名・箕郷梅林、各市内の周辺施設
交通	◆車での移動を推奨します。 秋間梅林：上信越自動車道松井田ICより約20分 榛名梅林：関越自動車道高崎ICより約40分 箕郷梅林：関越自動車道前橋ICより約30分
担当	◆ぐんま三大梅林振興会議（高崎行政県税事務所内） 027-322-4681



ポスター画像

道の駅まえばし赤城 いちごフェスティバル【前橋市】

『あなたの一番好きないちご商品はどれ？』

『あなたの一番好きないちご商品はどれ？』と題し、一番美味しい『いちごメニュー』を決定するフェスティバル！

いまが旬な『いちご』を使用し、各店舗が自慢のメニューを考案！『道の駅まえばし赤城』でしか味わえないメニューばかりとなっております！
今回、使用している『いちご』は、道の駅まえばし赤城 AkagiFarmLifeに出荷しているいちご農家さんの『いちご』。一粒一粒真心こめてつくった『いちご』や味は変わらないが、残念ながら傷がついて販売できないB品『いちご』も使用！
皆さんはどの店舗のどのメニューが気になりますか？ぜひ、全制覇を目指し、ご来場ください！

<https://maebashi-akagi.jp/amuse/post-5656>

日時	【販売日】2月1日（木）～3月20日（水）
場所	道の駅まえばし赤城 各店舗
交通	関越道 渋川伊香保ICから約10分
担当	北村



いちごフェスティバル

みょうぎ山(やま)フェスタ・妙義ふるさとマルシェ 【富岡市】

妙義山名勝指定100周年記念事業

妙義山名勝指定100周年のフィナーレを飾るイベントとして、登山・アウトドアに関する出展を集めた「山フェスタ」と、妙義山周辺の店舗をあつめた「ふるさとマルシェ」を、妙義ビジターセンターにて同時開催します。
※内容について、一部変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。

みょうぎ山フェスタ：妙義ビジターセンター館内
妙義山写真展・フォトスポットの設置、クライミング・スラックライン等体験コーナー
山ごはん講座（定員有）・ワークショップ、アウトドア用品の展示販売等

第3回妙義ふるさとマルシェ：芝生広場
飲食や雑貨類など、妙義山周辺地域のお店が勢ぞろい！



日時	3月2日（土）10時～15時
場所	妙義ビジターセンター（館内・芝生広場） 富岡市妙義町妙義1-5
交通	電車：信越線 松井田駅からタクシーで約10分 車：関越・上信越自動車道 松井田妙義ICから約5分
担当	妙義ビジターセンター (TEL 0274-73-2585)

メインビジュアル

第69回企画展 群馬県立自然史博物館【富岡市】

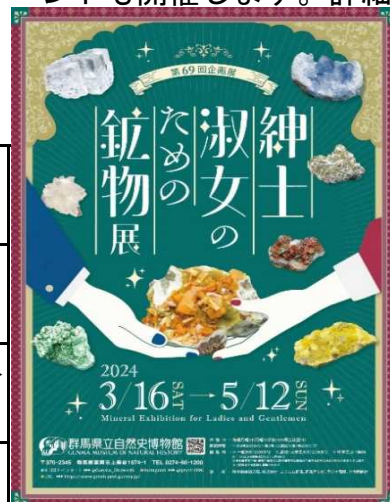
第69回企画展「紳士淑女のための鉱物展」

鉱物は色、光、透明感、質感などで古代から人の心を魅了してきました。その辺に転がる石ころも実は鉱物の集まりでできていて、顕微鏡で見ると宝石を散りばめたような世界にはっとさせられます。本企画展では「鉱物との出会いの場」を創ることを目的として、日本の伝統色、美しい言葉、宮沢賢治作品などを通して鉱物標本の彩りのある世界を展開します。

なお、企画展開催期間中は、関連するワークショップ等のイベントも開催します。詳細は、博物館ホームページをご覧ください。

<https://www.gmnh.pref.gunma.jp>

日時	◆ 3月16日（土）～5月12日（日） 9:30～17:00（最終入館16:30）
場所	◆ 群馬県立自然史博物館（企画展示室）
交通	◆ 上信電鉄上州富岡駅・JR信越本線磯部駅からタクシー10分 ◆ 上信越自動車道富岡IC・下仁田ICから車で15分
担当	◆ 教育普及係（TEL:0274-60-1200）



企画展チラシ表面

第37回みさと梅まつり【高崎市】

春の訪れを感じながらお気に入りの「梅」を探してみてください


東日本一の梅の産地、高崎市に位置する箕郷梅林で、今年も梅の開花にあわせて「みさと梅まつり」を開催します。

開催期間中、箕郷梅林では約10万本の梅の花が関東平野を一望する丘陵を雲海のように純白に埋めつくし、絶景と甘酸っぱい梅香を楽しむことができます。また、地元特産の梅製品や農産物などの売店や様々なキッチンカーが出店する予定です。

なお、今年から『みさと梅林案内マップ』に箕郷梅林観梅モデルコースを設定しましたので、「箕郷梅林」の散策を多くの方に楽しんでいただきたいと思います。

入場料：無料

駐車場（400台駐車可能）：普通車300円 大型車1,000円 バイク100円

日時	◆令和6年2月25日（日）～3月下旬（9時～16時）	
場所	箕郷梅林 ◆高崎市箕郷町富岡『みさと梅公園』周辺 ◆高崎市箕郷町善地『箕郷梅林善地イベント広場』周辺	
交通	◆電車：JR高崎駅よりバス約30分「箕郷営業所」下車後、タクシー約10分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約30分	
担当	◆高崎市箕郷支所産業課 (TEL: 027-371-9065)	

箕郷梅林の様子

高崎市タワー美術館【高崎市】

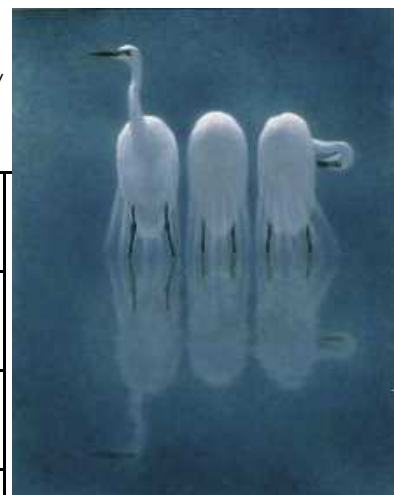
企画展「群青と緑青 神々しい“あお”」

日本画に用いられる代表的な天然顔料で、古くから珍重されてきた群青と緑青は、銅が長い年月をかけて変化したものです。その鮮やかで美しい色彩は、視線を引き付け、表現や描写のキーポイントとなる大切な存在です。

本展覧会では、日本画における群青と緑青の表現のほか、青と緑を取り入れた作品約50点を紹介。自然を彩る木々や空、時には心の内面を描き出す美しい色調をお楽しみください。

<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014021900025/>

日時	◆令和6年2月17日（土）～3月20日（水・祝）
場所	◆高崎市タワー美術館（高崎市栄町3-23）
交通	◆JR高崎駅東口より徒歩2分
担当	◆高崎市タワー美術館（027-330-3773）



杉山 寧《気》1968年
株式会社ヤマタネ蔵

「視覚の冒険者たち」高崎市美術館【高崎市】

越境する絵画 —その瞬間を見逃すな—

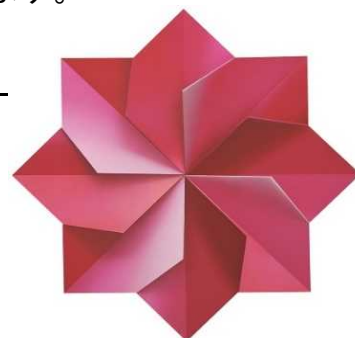
美術作品のなかには、視覚の冒険的な試みによってさまざまな「境界」を越え、鑑賞者に心身の揺らぎを感じさせるものがあります。20世紀初頭のキュビズムは、いろいろな視点から見た対象物をひとつの画面に結実させ、固定視点を前提とする伝統的絵画を解体してしまいます。フロッタージュやデカルコマニーなどを駆使するシュルレアリスムは、人間の意識と無意識の境界を軽やかに超えてみせました。

本展覧会では、キュビズム、シュルレアリスム、オブ・アートといった欧米の実験的制作をはじめ、日本の「寄せ絵」から瑛九やオノサト・トシノブ、鬘嘔(あいおう)ら戦後のアーティストたち、また現代のコンセプチュアル・アートにいたるまで、視覚の冒険をとおして感覚と思考の試行錯誤を繰り返してきた多彩な表現を紹介します。

また、二次元と三次元との境界を往来しながらイリュージョンを生じさせ、物質と空間の意味をメタ視点から問い直す吉野ももの作品を特集展示します。

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014011000353/>

X (旧Twitter) 公式アカウント @takasaki_inoue



吉野もも
《Kami #50 -bloom-》
2018年 個人蔵

日時	◆1月27日(土)～3月17日(日) 10時～18時 金曜日のみ～20時 ※入館は閉館30分前まで
場所	◆J R 高崎駅西口から徒歩3分
交通	◆電車：J R 線 高崎駅西口から徒歩3分 ◆車：関越自動車道 高崎ICから約20分
担当	◆高崎市美術館 (TEL 027-324-6125)